

事務事業名	コード 39740 青少年健全育成活動費	予算科目	会計 一般 10 4 1	所管課	生涯学習課	担当班	社会教育班
①	(茅野市児童交流事業を除く)	根拠法令	旭市青少年問題協議会条例等	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業		
基本施策	14 青少年の健全育成	戦略事業	次ページに記載				
施策の展開	28 青少年の健全育成の推進	戦略事業					

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	①青少年育成市民会議：地域と行政が協働して意見発表会などを通じて青少年の健全育成を行う。市は育成市民会議に補助金を交付する。②青少年問題協議会：青少年の指導等に関する総合政策について調査審議する。市は事務局事務を行う。③青少年相談員連絡協議会：青少年相談員（千葉県知事委嘱）による青少年健全育成活動。市は連絡協議会への補助金交付を行う。④通学合宿：異学年同士（小学校5～6年生）で集団生活を実施して健全育成を図る。⑤子ども会：地域の大人が指導者となり、主体となる子ども会事業等について支援し、様々な体験活動を実施。活動に際してはジュニア・リーダーズクラブ（中学生から大学生までのグループ）がボランティアで支援を行う。市は子ども会育成連絡協議会への補助金交付と活動の支援を行う。	
	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
家庭と地域・学校等各団体間の協力体制並びに組織体制づくりによる密接な連携のもと、体験学習や実践活動を通じて地域との関わりや世代間交流を促進し、社会性や豊かな人間性を持つ青少年を地域全体で育成していく。	青少年を取り巻く社会環境は、親子のふれあい不足、地域での人間関係の希薄化や地域活動への関心の薄れ、子どもたちの異年齢での遊びの減少などが指摘されている。一方、従来の万引、喫煙、深夜はいかいなどに加え、パソコンや携帯電話によるインターネットの利用から発生する問題は、ますます多様化、低年齢化の傾向にある。	学校、家庭、地域社会、関係機関が一体となった青少年の健全育成活動の取り組みの充実に求められている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (27年度の決算) 単位:千円		単位					
1.負担金及び交付金	4,236	補助金(青少年相談員連協、旭市子連、育成市民会議)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
2.需用費	89	啓発用品購入代、記念写真印刷代	4,746	6,393	4,686	4,236	6,961
3.委託料	21	手話通訳委託料	48	53	54	89	79
4.使用料及び賃借料	106	東総文化会館使用料	18	25	21	21	33
	0		55	88	89	106	106
② 特定財源の内訳 (27年度の決算) 単位:千円		事業費計 (A)					
1.国庫支出金	0	1.国庫支出金	4,867	6,559	4,850	4,452	7,179
2.都道府県支出金	0	2.都道府県支出金					
3.地方債	0	3.地方債					
4.その他	0	4.その他					
		5.一般財源	4,867	6,559	4,850	4,452	7,179

前年度増減理由: 子ども会への運営補助金を10%減額し、同団体のバス借上事業補助金が予定より使用されなかったため。

従事職員数: 常時 2人 最大 5人 × 60日 = 延べ 300人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

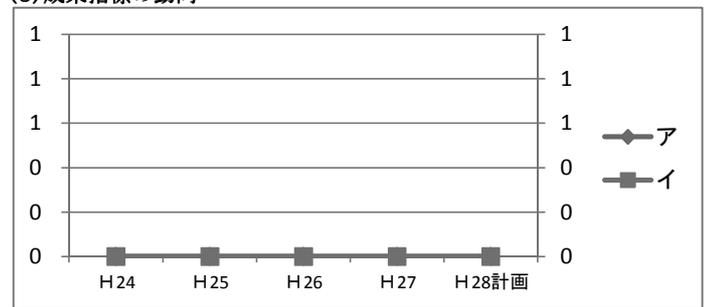
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	27年度実績(27年度に行った主な活動)							
目的	図	イ	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)

次ページ(3)'に記載

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	②	評価結果	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	普通			①		(9)
	小さい			④⑤		
				⑥		
				⑦⑧		
				⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難				
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	比較	23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28計画
【コメント】 (低下の場合、その理由)	次ページ(6)'に記載				ア 0.0 イ 0.0
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他 ()	平成28年7月10日 今年度新たな事業として子ども会育成連絡協議会が主催、青少年相談員連絡協議会が共催で子どもパークゴルフ大会を開催し、青少年相談員が子ども達と触れ合える本来の活動へとシフトを図る。 平成31年4月1日 青少年相談員数は、合併前の人数をほぼ維持しているため、県の基準である1小学校区当たり5名、計75名(15小学校)より大きく上回っているため、第20期の青少年相談員から人数を変更する。

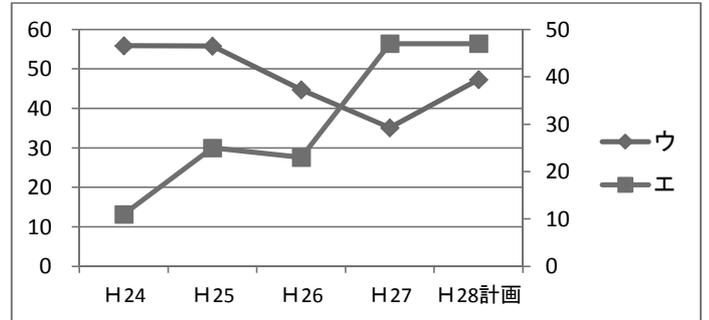
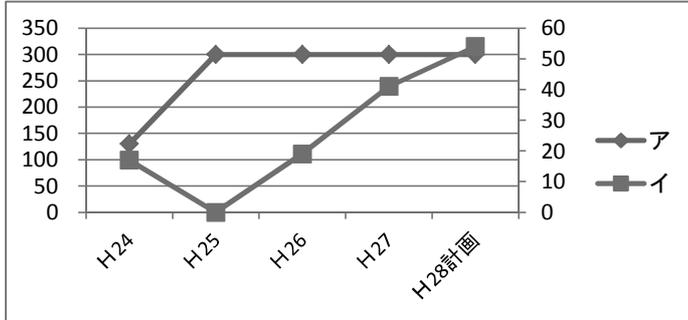
事務事業	39740	青少年健全育成活動費 (茅野市児童交流事業を除く)	戦略	136	青少年育成市民会議の推進	戦略	139	通学合宿の推進
	①		戦略	137	青少年問題協議会の開催	戦略	141	子ども会活動の促進
			戦略	138	青少年相談員連絡協議会活動の推進	戦略		

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

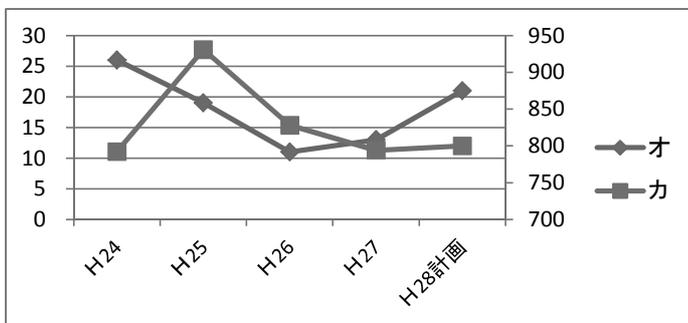
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)
手段	27年度実績(27年度に行った主な活動) <<青少年育成市民会議>>青少年を対象に旭市青少年意見発表大会等の実施。 <<青少年問題協議会>>会議及び講演会の実施 <<青少年相談員連絡協議会>>通学合宿、旭市青少年綱引き大会、少年の日・地域のつどい海浜地区綱引き大会等の実施。 <<通学合宿>>海上地域と干潟地域の小学校を対象に実施。大学生ボランティアによる活動支援やもらい湯を新たに実施。 <<ジュニア・リーダー>>小学校5・6年生を対象に宿泊講習会等の実施。参加者を増やすためのパンフレットの工夫、LINEグループの作成。 <<子ども会>>単位子ども会を対象に地曳網体験、デイキャンプ、交歓会、書き初め展等の実施	ア <<市民会議>>意見発表大会の発表人数	人	14	14	14	14	15
		イ <<問題協議会>>会議の回数	回	1	0	1	1	1
		ウ <<相談員連絡協議会>>行事の回数	回	8	8	8	7	6
		エ <<通学合宿>>事業実施地域	地域	1	1	1	2	2
		オ <<ジュニア・リーダー>>ジュニア・リーダー初級講座受講生(準会員)	人	18	35	16	26	42
		カ <<子ども会>>単位子ども会の会員数	人	2,311	2,415	2,202	2,103	2,000
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)
目的	対象意図 <<市民会議>>6歳から24歳までの青少年 <<市民会議>>社会性及豊かな人間性を持つ青少年を地域全体で育成していく。 対象意図 <<問題協議会>>6歳から24歳までの青少年の指導・育成者 <<問題協議会>>青少年に関する総合的施策について意見交換と連絡調整を図る。 対象意図 <<相談員連絡協議会>>6歳から18歳までの青少年(青少年相談員の対象者) <<相談員連絡協議会>>地域での育成活動の積極的な推進を図り、青少年の健全育成に資する。 対象意図 <<通学合宿>>小学校5年生か6年生までの児童 <<通学合宿>>異学年同士で集団生活をするにより、自主性、協調性、社会性を養い、青少年の健全育成に資す 対象意図 <<ジュニア・リーダー>>ジュニア・リーダー初級資格を有した市内在住の中学生及び高校生 <<ジュニア・リーダー>>子ども会活動の援助及びジュニア・リーダーの育成、地域社会への奉仕等を図る。 対象意図 <<子ども会>>市内在住の子ども及び育成者 <<子ども会>>地域の天人が指導者となり、子ども会事業や地域事業等について支援し、様々な体験活動を実施する。	ア <<市民会議>>青少年意見発表大会の来場人数	人	130	300	300	300	300
		イ <<問題協議会>>会議及び講演会等の参加人数	人	17	0	19	41	54
		ウ <<相談員連絡協議会>>相談員の各事業への参加率	%	55.9	55.8	44.7	35.1	47.3
		エ <<通学合宿>>参加人数	人	11	25	23	47	47
		オ <<ジュニア・リーダー>>ジュニア・リーダースクラブ会員数	人	26	19	11	13	21
		カ <<子ども会>>市子連主催の主な3事業(親子地曳網体験、交歓会、書き初め展)への参加人数(書き初め展は出展数)	人	792	931	828	794	800

(5) 成果指標の動向

ア 青少年意見発表大会発表大会の来場人数 イ 問題協議会の会議及び講演会等の参加人数 ウ 相談員の各事業への参加率 エ 通学合宿の参加人数



オ ジュニア・リーダースクラブ会員数 カ 市子連主催の主な3事業への参加人数



比較	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	24年度	25年度	26年度	27年度	28計画
ア	△370	170	0	0	0
イ	17	△17	19	22	13
ウ	0.0	△0.1	△11.1	△9.6	12.2
エ	23年度は未実施	14	△2	24	0
オ	11	△7	△8	2	8
カ	298	139	△103	△34	6

(6) 事務事業に関する評価

成果の状況	成果指標	数値増=成果向上	評価				理由
			向上	横ばい	低下	その他	
② 成果の状況	成果指標ア	➔	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下の場合、その理由 【コメント】 青少年相談員活動のメインとなっていたドッジボール大会が、綱引き大会に変更になったため、学校からの参加者が減った。
	成果指標イ	➔	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果指標ウ	➔	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果指標エ	➔	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果指標オ	➔	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果指標カ	➔	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	